



# 東京海上日動CTA 償還時元本確保型ファンド 2010-03

第2期 運用報告書

(決算日 2011年5月16日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信 / 内外 / その他資産 / 特殊型 (条件付運用型) (課税上は株式投資信託として取扱われ ます。)
信託期間	2010年3月19日から2023年4月17日
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運 用を行います。
主要投資対象	ドイツ銀行が公表する「dbセレクトFive CTA Managersインデックス」の騰落率に 連動する性格を持つユーロ円建債券を主 要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合は、10%以下としま す。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には制限を設 けません。</li> </ul>
分配方針	第2回目以降の毎決算時に、原則とし て、経費控除後の配当等収益から、将来 発生する経費等を勘案して分配を行う方 針です。ただし、分配対象額が少額の場合 等には、収益分配を行わないことがあ ります。収益の分配に充当せず、信託財 産内に留保した利益については、運用の 基本方針に基づいて運用を行います。

投資家のみなさまへ

毎々格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し  
上げます。

さて、ご投資いただいております「東  
京海上日動CTA償還時元本確保型ファ  
ンド2010-03」は、2011年5月16日に  
第2期の決算を行いましたので、期中  
の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りませ  
うようお願い申し上げます。

## 東京海上アセットマネジメント投信

東京都千代田区丸の内1-3-1 東京銀行協会ビル

お問い合わせ窓口

東京海上アセットマネジメント投信 サービスデスク 0120-712-016

土日祝日・年末年始を除く9時～17時

<http://www.tokiomarineam.co.jp/>

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利回り	参考指数		債券 組入比率	元本 残存率
	税込み 分配金	期中 騰落額	期中 騰落率	期中 騰落率		期中 騰落率	期中 騰落率		
(設定日) 2010年3月19日	円 10,000	円 -	円 -	% -	% -	(2010年3月23日) 100	% -	% -	% 100.0
1期(2010年5月17日)	9,648	-	352	3.5	21.4	101.01	1.0	99.6	100.0
2期(2011年5月16日)	9,697	0	49	0.5	2.6	96.61	4.4	99.4	93.3

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 受益者利回りは、期末基準価額の当初元本に対する年換算利回りです。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		債券 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2010年5月17日	円 9,648	% -	101.01	% -	99.6
5月末	9,723	0.8	100.52	0.5	99.4
6月末	9,956	3.2	101.41	0.4	99.4
7月末	10,027	3.9	100.96	0.1	99.4
8月末	10,274	6.5	101.30	0.3	99.4
9月末	10,390	7.7	102.96	1.9	99.4
10月末	10,527	9.1	104.44	3.4	99.4
11月末	10,104	4.7	102.10	1.1	99.4
12月末	10,311	6.9	103.33	2.3	99.4
2011年1月末	9,905	2.7	100.28	0.7	99.4
2月末	9,959	3.2	100.35	0.7	99.4
3月末	9,543	1.1	96.30	4.7	99.3
4月末	9,823	1.8	98.74	2.3	99.4
(期末) 2011年5月16日	9,697	0.5	96.61	4.4	99.4

(注) 騰落率は期首比です。

参考指数は「dbセレクト Five CTA Managersインデックス」です。

「dbセレクト Five CTA Managersインデックス」は、2010年3月23日を100として算出しており、前日の値を用いております。(出所：ドイツ銀行)

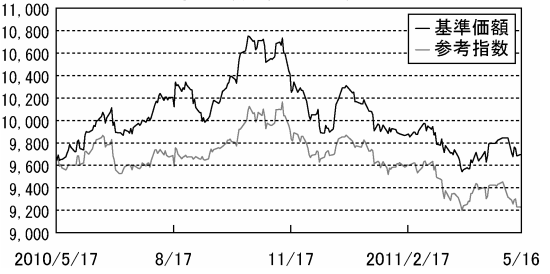
## 当期中の運用経過と今後の方針（2010年5月18日から2011年5月16日まで）

### 1. 基準価額の推移と主な変動要因

当ファンドは、主として、ドイツ銀行が公表する「dbセレクトFive CTA Managersインデックス」の騰落率に値動きが連動する性格を持ち、満期償還時には元本が確保されるユーロ円建て債券への投資を行っております。

当期の基準価額は、期首（2010年5月17日）の9,648円から当期末（2011年5月16日）は9,697円となり、期中の騰落率は+0.5%となりました。一方、「dbセレクトFive CTA Managersインデックス」の騰落率は4.4%となりました。基準価額は、2010年7月下旬以降2011年1月半ばまでは概ね10,000円を上回っていましたが、2011年1月20日に10,050円をつけて以降は、9,000円台に留まることとなりました。期を通じて、連動対象である「dbセレクトFive CTA Managersインデックス」の騰落率にほぼ沿う形で変動しましたが、ユーロ円債の満期時元本確保運用部分の運用益が基準価額を押し上げる要因となりました。

基準価額と参考指数の推移



(注) 参考指数は期首（2010年5月17日）の値が基準価額と同となるように指数化したものです。

### 2. 当期の投資環境

当期は、米国金融緩和の継続、欧州の財政懸念、中東情勢の緊迫化、日本における東日本大震災とそれに続く原子力発電所事故などがグローバル資本市場動向に大きな影響を与えました。

グローバル株式市場は、欧州の債務問題やグローバル景気への懸念などから2010年夏場までは軟調に推移しましたが、米国金融緩和や好調な経済指標の発表などを背景に、その後は堅調に推移しました。2011年3月に東日本大震災が発生すると、グローバル経済に与える影響への懸念などから一時的に急落する局面もありましたが、欧米企業業績が堅調であったことや原子力発電所事故への懸念の後退等から、期末にかけても株式市場は上昇基調で推移しました。

為替市場では、期を通じて米ドルが軟調となった一方、ユーロや円は対ドルで堅調に推移しました。ただし、ドル/円については、急騰局面では政策当局の為替介入があったことなどから、期央以降は横ばいで推移しました。

また、当期は金融緩和の継続などを背景に、金や銀、原油など商品市場への資金流入が増加し、これら資産の価格が大幅に上昇したことが大きな特徴です。急激な上昇の反動等から期末にかけては若干調整したものの、NY市場の金先物は20%程度、原油先物は40%程度の上昇となりました。

### 3. 当期の運用経過と基準価額

当期においては、「dbセレクトFive CTA Managersインデックス」の騰落率に値動きが連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に保ちました。

この結果、当期の基準価額は、「dbセレクトFive CTA Managersインデックス」の騰落率にほぼ沿う形で変動し、当期末は9,697円となりました。基準価額の騰落率と「dbセレクトFive CTA Managersインデックス」の騰落率の差については、ユーロ円債の満期時元本確保運用部分の運用益が「dbセレクトFive CTA Managersインデックス」の騰落率下落によるマイナスの影響を上回ったことによるものです。

なお、当期の収益分配につきましては、基準価額の水準等を勘案し、分配を行わないことと致しました。分配に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、引き続き当ファンドの運用方針に基づいて運用いたします。

### 4. 今後の運用方針

引き続き、「dbセレクトFive CTA Managersインデックス」の騰落率に値動きが連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に保つ方針です。

## 1万円(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	前 期	当 期
(a) 信 託 報 酬	489円	- 円
(投 信 会 社)	(372)	( - )
(販 売 会 社)	(105)	( - )
(受 託 銀 行)	(12)	( - )
(b) 保 管 費 用 等	-	1
合 計	489	1

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、下記の簡便法により算出した結果です。

信託報酬 = 1万円当たり元本 × 信託報酬率

(注2) (b)保管費用等は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

## 期中の売買及び取引の状況(2010年5月18日から2011年5月16日まで)

## 公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	社債券(投資法人債券を含む)	-	97,160

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨てています。

(注3) 社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## 利害関係人との取引状況等(2010年5月18日から2011年5月16日まで)

## 期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細(2011年5月16日現在)

## (A)債券種類別開示

## 国内(邦貨建)公社債

区 分	当 期 未						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普通社債券(含む投資法人債券)	1,400,000 (1,400,000)	1,348,760 (1,348,760)	99.4 (99.4)	- (-)	99.4 (99.4)	- (-)	- (-)
合 計	1,400,000 (1,400,000)	1,348,760 (1,348,760)	99.4 (99.4)	- (-)	99.4 (99.4)	- (-)	- (-)

(注1) ( )内は非上場債で内書きです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

(注4) - 印は組み入れなしです。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B)詳細開示

## 国内(邦貨建)公社債銘柄別

種 類	当 期 未				
	銘 柄 名	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券 (含む投資法人債券)	円元本確保型 dbセレクトFive CTA Managersインデックス連動債券 期間13年	% -	千円 1,400,000	千円 1,348,760	2023/3/23
合 計		-	1,400,000	1,348,760	-

(注1) 額面・評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) 利率は、原則毎年4月10日に決定します。なお、当期は0%となりました。

(注3) 株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券の組入れはありません。

## 投資信託財産の構成

(2011年5月16日現在)

項 目	期首(前期末)		当 期 末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公 社 債	1,441,650	99.6	1,348,760	99.4
コール・ローン等、その他	5,587	0.4	8,807	0.6
投資信託財産総額	1,447,237	100.0	1,357,567	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2010年5月17日)、(2011年5月16日)現在

項 目	期 首	当 期 末
(A) 資 産	1,447,237,229円	1,357,567,290円
コール・ローン等	5,587,216	5,328,901
公社債(評価額)	1,441,650,000	1,348,760,000
未 収 利 息	13	9
その他未収収益	-	3,478,380
(B) 純資産総額(A)	1,447,237,229	1,357,567,290
元 本	1,500,000,000	1,400,000,000
次期繰越損益金	52,762,771	42,432,710
(C) 受益権総口数	1,500,000,000口	1,400,000,000口
1万口当たり基準価額(B/C)	9,648円	9,697円

(注1) 当ファンドの設定年月日は2010年3月19日、設定元本額は1,500,000,000円、期首元本額は1,500,000,000円、期末における元本残存率は93.3%です。

(注2) 当期末の1口当たり純資産額は0.9697円です。

(注3) 当期末の元本の欠損は42,432,710円です。

## 損益の状況

前期(自2010年3月19日 至2010年5月17日) 当期(自2010年5月18日 至2011年5月16日)

項 目	前 期	当 期
(A) 配 当 等 収 益	19,229円	3,483,461円
受 取 利 息	19,229	5,081
その他収益金	-	3,478,380
(B) 有価証券売買損益	-	2,420,000
売 買 益	-	2,420,000
(C) 有価証券評価差損益	20,550,000	1,850,000
(D) 信託報酬等	73,332,000	143,400
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	52,762,771	7,610,061
(F) 前期繰越損益金	-	52,762,771
(G) 解約差損益金	-	2,720,000
(H) 計 ( E + F + G )	52,762,771	42,432,710
(I) 収益分配金	-	0
次期繰越損益金(H+I)	52,762,771	42,432,710

(注1) 損益の状況の中で(D)信託報酬等には消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 計算期間末における当ファンドの配当等収益額(3,483,461円)から経費(143,400円)を控除した額(3,340,061円)に、期末の受益権口数(1,400,000,000口)を乗じて期中の平均受益権口数(1,483,333,333口)で除することにより分配可能額は(3,152,417円)(1万口当たり22円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## お知らせ

約款に一部誤植がありましたので、2010年6月30日付で、所要の変更を行いました。